

# スポーツ推進委員 だより

座間市スポーツ推進委員協議会

第 58 号

発行日 令和2年3月15日  
 編集 座間市スポーツ推進委員協議会  
 発行 座間市健康部スポーツ課  
 住所 〒252-8566  
 座間市緑ヶ丘1-1-1  
 電話 046-252-8177  
 F A X 046-255-3550

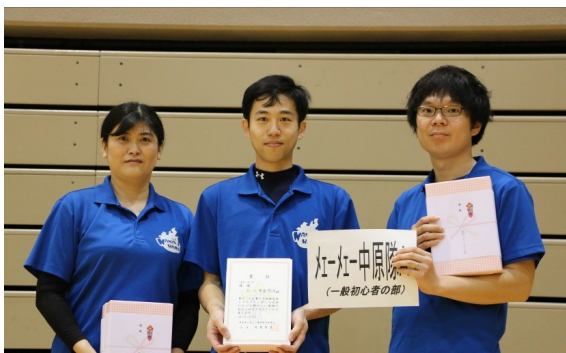
第28回ソフトバレーボール大会

令和二年一月十八日(土)に第28回座間市ソフトバレーボール大会が開催されました。今年の大会では、ファミリーから経験者まで計22チーム、108名の参加でした。一般経験者の部では、力強いスパイクやサーブの連続に見ごたえある試合でした。どのコートも白熱した試合が行われ、チームで心を一つにして取り組み姿はまさに「One Team!」

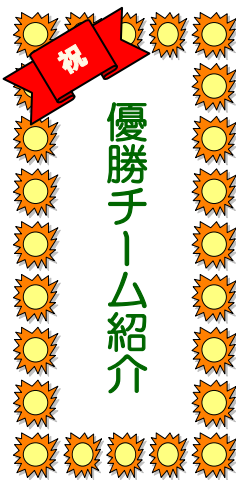
来年度も多くの方に参加していただけたらと思います。



ファミリーの部A  
**優勝** ハンドタイガースB



一般初心者の部  
**優勝** M-E-M-E-中原隊A



ファミリーの部B  
**優勝** コサッカーズ

みんなおめでとう!!



よく狙って!  
 そーれ!!

みんな白熱のゲームでした!



一般経験者の部  
**優勝** サザンフォレスト

## ニューフィールドゲーム

令和元年十一月二日(土) 芹沢公園芝生広場で行われました。

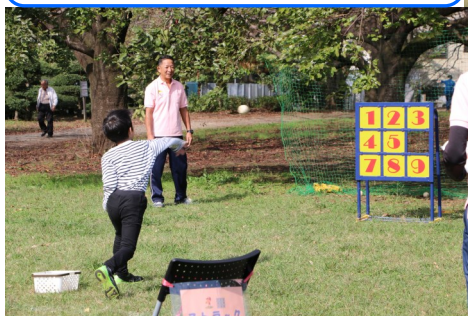
当日は晴天に恵まれ、事前申込者14名、当日参加者66名、合計80名の参加でした。

スポーツ推進委員がラダーゲッター、グラウンドゴルフ、ストラックアウト、オナモミダーツ、クイズラリーなどを担当しました。



グラウンドゴルフ  
カッパではなく「ボールポスト」に  
ボールを打っていくゴルフ

## ストラックアウト みんなよく知ってる的当てゲーム



中でも人気だったのはドングリクラフト、いろいろなドングリを組み合わせて好きな形を作りました。

あまりに夢中になってしまい時間配分を忘れるほどの人気ぶりでした。

できた作品は大事そうに箱に入れていました。



毎年人気のコーナーです☆

最後のお楽しみは抽選会。

参加者全員がハズレ無しのごじを1枚ずつ引いて豪華賞品を獲得。皆さん満足そうな顔で帰って行きました。  
また来年の参加を期待しています。

## 今年の景品はミニオングッズ♪



## 東京2020オリンピック パラリンピックコーナー



「より速く、より高く、より強く」とは、近代オリンピックの父クーベルタンにより、オリンピックのモットーとなった言葉です。これは、努力すること、今の自分を少しでも越えることを目指すことこそが、オリンピックの目標であると伝えていきます。つまり、オリンピックは、他人と比較して優劣を付けたリ、メダルの数だけに一喜一憂する大会であってはいけないのです。

また、クーベルタンは「オリンピックは参加することに意義がある」と言っています。この言葉には二つの意味があります。一つは、オリンピックを目標して努力することで、心と体を鍛え、人間として成長できるという意味です。もう一つは、世界中の人が参加し、互いを理解し合うことで、平和な世界の実現につながるという意味です。オリンピックが「平和の祭典」と呼ばれる理由がここにあります。

56年の歳月を経て、再び日本はホスト国になります。海外からのお客様をもてなす側です。選手の皆さんの努力が実を結び、自己記録を伸ばすことのできる大会にしたいです。東京大会を観た世界中の子どもたちに、感動と夢と、平和の種をまくことのできる大会にしたいですね。

## 健康まつり



十一月十七日(日) 座間中学校体育館で「健康まつり」が開催される中、いろいろな体の測定をして自分の体力が分かる「体力年齢オッチング」が行われました。天気も良く187名が参加し、今年も大変賑わいました。

その中でも今年度から始めた閉眼片足立ちは、笑いながらすぐに両足立ちになってしまう人や長い時間微動だにしない方がいるなど、訪れた人は楽しみながらも真剣に取り組んでいました。

また、体組成測定では、測定結果の後に、日本体操研究所の方から丁寧なアドバイスもあり、みんな真剣に聞いていました。

この日をきっかけにこれから自身の健康について考えていただければと思います。





文部科学大臣表彰受賞

令和元年十一月十四日（木）から十五日（金）にかけて行われた第六十回全国スポーツ推進委員研究協議会三重大会にて、当協議会前副会長で現座間市教育長の本島弘氏が文部科学大臣表彰を受賞しました。



木島 弘氏  
みじま ひろし

32年間、委員として活躍した大ベテラン！  
今は教育長として頑張っています！



さくらんぼ

第六十回全国スポーツ推進委員研究協議会三重大会に於いて文部科学大臣表彰を受賞させていただく栄誉に与りました。

これも大矢会長をはじめ本市スポーツ推進委員の皆様や事務局である本市スポーツ課職員の皆様の御配慮と深く感謝しております。

これまで、各種の事業を通し推進委員の皆様と、共に達成感を得ることが出来ましたことは私にとって大きな喜びでした。この賞を励みに、これからも頑張ってみようと思います。

全国功労者表彰受賞

前段の本島弘氏と同じ式典において本協議会理事の波多野啓子委員が全国功労者表彰を受賞しました。



波多野 啓子委員  
はたの けいこ

29年も委員として活躍中！スポーツ推進委員のムードメーカーの一人です！



さくらんぼ

まずは、受賞に関してのお世話になった方々、長年協力してくれた家族にお礼を申し上げます。

これからもスポーツ推進委員として自分の能力の限り頑張っていきたいと思えます。



木島氏は32年間の功績が波多野委員は29年間の功績が認められて受賞しました。おめでとうございます！



さくらんぼ

神奈川県スポーツ推進委員大会



令和二年二月二日（日）に川崎市麻生市民館で神奈川県スポーツ推進委員大会が開催されました。

ダンスや合唱のアトラクションのほか、柔道のオリンピックの鈴木桂治氏の基調講演が行われました。

また、式典では本市スポーツ推進委員3名が功労者表彰を受賞しました。



石井 厚廣 委員  
いしい あつひろ

この広報紙に掲載されている事業の写真はほとんど石井委員が撮影しています！

受賞者コメント

約10年、スポーツ推進委員の記録係として写真撮影担当を中心に活動してきました。

これからもいろいろな事業で市民の皆様笑顔や活発な姿を記録し、活きいきとした座間市を表現していければ、と思っています。



今井 澄子 委員  
いまい すみこ

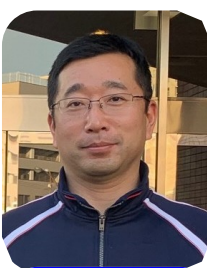
スポーツ推進委員以外の活動もたくさんなす、すこくアクティブな委員さんです！

受賞者コメント

功労者表彰を受賞させていただき大変うれしく思います。

これもスポーツ推進委員の方々のおかげと感謝しております。

これからも微力ながら生涯スポーツを広めるお手伝いをしていきたいと思えます。



吉田 康央 委員  
よしだ やすお

バレーボールの指導からフリースまでこなす体育の先生みじかな委員さんです！

受賞者コメント

好きな体育・スポーツに常に関わることが出来て、あらためて楽しいなど実感しております。

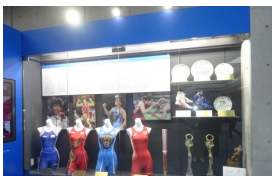
スポーツ推進委員として10年が経過しましたが、これからもいろいろな事業に参加される市民の皆さんと一緒に楽しみたいと思います。



さくらんぼ

**全国スポーツ推進委員研究協議会  
三重大会**

60回目となる全国大会が、十一月十四日(木)～十五日(金)の二日間に渡り、三重県津市で開催されました。



**吉田沙保里コーナー**

会場は「津市産業・スポーツセンター」通称「サオリーナ」です。

この「サオリーナ」と言う名は、レスリング女子金メダリスト吉田沙保里氏が津市出身であったことから命名されたそうです。

アトラクションは、皇學館大学雅学部によるもので、演奏や舞が古式ゆかしく披露されると、会場が神々しい雰囲気になりました。



**瀬古 利彦氏**

続く講演は、こちらも三重県出身の元オリンピックマラソン選手の瀬古利彦氏によるものでした。「心で

走る」の演台での講演でしたが、常に笑いの絶えない、とても楽しくて有意義な話を伺うことが出来ました。

**座間市民健康マラソン大会**

令和元年十一月二十四日(日)恒例のマラソン大会が相模川河川敷で開催されました。前日からの荒天に開催が危ぶまりましたが、大会関係者、選手の皆さんの熱い思いが天にも通じ、受付時に霧雨も競技開始時には空に太陽や大きな虹も出て、選手に声援を送ってくれているようでした。



**名物「ざまりん体操」担当はスポ推です！**



**朝の雨も止んで途中からは快晴☆**



**昨年からざまりんも「ざまりんコース」にエントリー！！**



**県央ブロック研修会**

今年度の県央ブロック研修会は十月六日(日)に綾瀬市民スポーツセンターで開催されました。種目は、キンボールとキャッチング・ザ・スティックの2種目でした。



**キャッチング・ザ・スティック**

キャッチング・ザ・スティック

は、まず横一列に8人が並び、それぞれが両手にスティックを持ちます。掛け声に合わせて手を離し、同時に右隣の人のスティックを倒さずにキャッチする種目です。倒さずに連続で何回キャッチできたかを競います。

キンボールは、コート内に4人1組の3チームが入ります。直径122センチの大きなボールを床に落とさないように指名されたキャッチして、次のチームへ打ち返すゲームです。どちらもチームワークが大事なゲームでした。

**キンボール**



**編集後記**



別れの季節です。

卒業式では、「別れ」の歌が歌われます。最近「旅立ちの日に」や「ビリーブ」など、「最後のチャイム」や「エール」など、比較的新しい歌が歌われますが、少し前までは「仰げば尊し」が定番でした。「仰げば尊し」我が師の恩」と聴くと懐かしい思い出が甦る方も多いと思います。

「我が師の恩」と言えば、二月に亡くなった元プロ野球監督の野村克也氏の死を悼み。多くの「教え子」が集まり、感謝の言葉を寄せました。

その様子から改めて「師」としての、その偉大さに気付かされます。野村元監督が残した言葉に、次のものがあります。

「金を残すのは三流、名を残すのは二流、人を残すのは一流。」まさしく、一流の人生を送った人でした。

貧しい環境で育った野村少年は、プロ野球選手になって「身を立て、名を上げる」ことに打ち込みます。そして、その苦労の経験が、深い思いやりと、優しさに満ちた人間へと成長させたのだと感じます。

「人は悲しみが多いほど、人には優しくなれるのだから」。こちらにも、卒業式で歌われる「贈る言葉」の歌詞です。

編集担当(総務部)

- 有山周一・近山光代・高橋廣
- 大矢一雄・依田玄基・春木祐子
- 山本広美・野村みさを・伊牟田健人・大沢奈緒美・松崎佳子